

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和2年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	掛川市総合福祉センター		担当課名	福祉課	記入者職氏名	主事 日向 祐介	
区分	内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市総合福祉センター条例					
	(2)施設設置目的	市民の健康増進及び福祉の向上を図るため。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	福祉活動館(974.72㎡ 体育館)、本館(1,883.04㎡ 1F シルバー人材センター、2F 社会福祉協議会・共用会議室、3F 掛川児童交流館・ことばの教室)、東館(342.90㎡ 1F 心配ごと結婚相談室、2F 社会福祉協議会障害福祉部門)、多目的広場(8,040.00㎡)、南広場(1,836.70㎡)、駐車場(6,750.00㎡ 駐車台数231台・身障者用駐車台数11台)					
	(4)施設建設年度	平成20年度(開設年度)					
	(5)耐震性能の有無	構造部材(有)、二次部材(無)					
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	各館の修繕工事					
	(7)指定管理者名	公益社団法人 掛川市シルバー人材センター					
	(8)指定期間	令和元年 4月1日 から 令和6年 3月31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	設定なし		※設定ありの場合、(期間 ~) (限度額 千円)			
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(11)自主事業の有無	実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(12)その他事業の有無	実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	提出あり						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	実施あり		※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 2 年度)				

区分		H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	30,000	28,500	28,500	25,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	28,689	25,030	25,015			
	内訳 (施設・設備ごと)	福祉活動館		20,470	17,487	16,382		新型コロナウイルス感染症対策のため5月25日から開館
		多目的広場		8,219	7,543	8,633		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	福祉活動館 (定員 人)	A平日昼間	202.3%	171.6%	169.4%		利用団体数559÷(コート数2×日数165)
			B平日夜間	76.3%	64.5%	71.5%		利用団体数236÷(コート数2×日数165)
			C土日祝昼間	108.8%	110.0%	128.1%		利用団体数246÷(コート数2×日数96)
			D土日祝夜間	52.2%	47.8%	58.9%		利用団体数113÷(コート数2×日数96)
		多目的広場 (定員 人)	A平日昼間	96.9%	119.5%	102.6%		利用団体数199÷(コート数1×日数194)
B平日夜間								
C土日祝昼間			113.2%	97.4%	108.0%		利用団体数122÷(コート数1×日数113)	
D土日祝夜間								
(定員 人)		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費		188	212	203			
	(3)運営日数		308	308	307	309		
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	4.0	4.0	4.0	4.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
	①人件費	2,957,718	2,960,070	3,122,983	3,060,000	
	②印刷費	243,972	0	0	49,000	
	③通信費	0	0	0	10,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	587,414	557,783	312,394	150,023	
	⑤借上料	390,132	404,396	487,412	464,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	1,160,790	1,319,790	1,084,790	1,449,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	61,263	63,530	59,160	25,000	
	計	5,401,289	5,305,569	5,066,739	5,207,023	
	対前年度増減率		△ 1.8	△ 4.5	2.8	
区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,143,505	2,163,388	2,185,384	2,032,000	
	消防設備保守点検	515,376	519,672	524,920	479,000	
	浄化槽保守点検	954,193	931,116	939,864	884,000	
	浄化槽法定検査	16,000	32,000	32,000	32,000	
	エレベーター保守点検	435,456	457,800	462,000	430,000	
	電気工作物保安	187,920	187,920	191,400	175,000	
	自動ドア保守点検	34,560	34,880	35,200	32,000	
	②修繕費	801,360	978,120	999,680	600,000	
	③光熱水費	2,355,721	2,410,407	2,595,504	2,510,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
	⑤清掃費	3,498,125	3,642,516	3,652,693	3,995,494	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	0	0	0	155,483	
計	8,798,711	9,194,431	9,433,261	9,292,977		
対前年度増減率		4.5	2.6	△ 1.5		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		14,200,000	14,500,000	14,500,000	14,500,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		38.0	36.6	34.9	35.9	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		551,940	477,160	404,480		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		10.2	9.0	8.0		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設使用料収入	551,940	477,160	404,480	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	14,200,000	14,500,000	14,500,000	
収支差額 a) - b)	△ 13,648,060	△ 14,022,840	△ 14,095,520	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	85%	100%	3	
B サービス内容の満足度	85%	99%	3	
C 従業員対応の満足度	85%	99%	3	
D 施設安全対策の満足度	85%	100%	3	
E 美観・清潔感の満足度	85%	99%	3	
F 施設の利用者数	28,500人	25,015人	2	【達成できていない点・主な課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で福祉活動館の利用者が減少した 【いつまでに、どのように対応するか】 ・令和3年度から、現状に則した要求水準に変更した

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数・使用料収入は減少しており、前年度よりも収支差額(赤字)が増えている。 【いつまでに、どのように対応するか】 安全対策を徹底し、市民の安全を確保したうえでの運営を求める。指定管理側の努力によって削減等も図られている状況であるが、より一層の効率的運営を求める。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 建物及び電気設備の老朽化が目につくようになっている。 【いつまでに、どのように対応するか】 簡易な修繕は施設管理者が随時行い、対応の難しいものがあれば担当課と協議の上、修繕していく。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 市民の健康増進及び福祉の向上を図るため、高齢者・障害者の支援や児童・生徒の健全育成に関わる使用の際には利用料の減免が必要となる。 【いつまでに、どのように対応するか】 広く市民に利用してもらうこと、これにより施設設置目的を達成することが重要であるため、収支状況を改善するための料金改定は行うべきでないと考えられる。また、市民の安全のため、施設の老朽化に伴う修繕が迅速に
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

27

／33

V その他自由意見

新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数や利用料が減少しており、IVの評価点数をそのまま運営状況評価として扱うことは難しい状況である。